

30pmL-004

無作為割付クロスオーバー2重盲検試験によって Theracurmin は他のクルクミン製剤よりも優れた吸収効率の向上がみられた

○岡村 信子¹, 砂川 陽一^{1,5}, 刀坂 泰史^{1,5}, 平野 早絵¹, 並木 雅俊¹, 渡邊 雄一¹, 土井 修², 横地 常広², 高橋 司³, 松井 崇人³, 濱田 友子³, 今泉 厚³, 橋本 正³, 掛谷 秀昭⁴, 和田 啓道⁵, 島津 章⁵, 長谷川 浩二⁵, 森本 達也^{1,2,5} (1静岡県大薬, 2静岡県総病院, 3セラバリュース, 4京大院薬, 5京都医療セ)

【目的】天然物ウコンの主成分であるクルクミンは多くの生理活性を有し、健康食品として古くから広く用いられている。しかしながらクルクミンは腸管からの吸収効率が悪く、十分な生理活性を得ることが難しい。そこで我々はヒトにおいて腸管からの吸収効率を約27倍高めた高吸収クルクミン製剤 Theracurmin®を作成した。本研究では既存のクルクミン製剤と Theracurmin®との血中への吸収効率の比較検討を行った。

【方法】本試験は静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会の許可の下、健康ボランティアに説明・同意を得て行った。健康成人男女9名の被験者に、Theracurmin® (クルクミン換算 180 mg) 及び既存のクルクミン製剤である Meriva® (150 mg)、BCM-95® (260 mg) を摂取させた。試験は、無作為割付クロスオーバー2重盲検試験とし、それぞれの服用を1週間あけた。摂取前、摂取後0.5、1、2、4、6、24時間後に採血し、クルクミンの血中濃度を測定した。

【結果】健康成人9名の内訳は、男性5名、女性4名、年齢は24~32 (平均25)歳であった。内服後において特に副作用はみられなかった。Theracurmin®は Meriva® や BCM-95® と比べて AUC 0-6hr では 4.9 倍、11.5 倍、摂取クルクミン 1 mg あたりの AUC 0-6hr でも 3.9 倍、17.7 倍と有意に高かった。Theracurmin® 摂取 24 時間後の血中濃度 (66.4 ng/ml) は Meriva® や BCM-95® の最高血中濃度 (58.7 ng/ml, 45.0 ng/ml) よりも高く維持することが判明した。

【考察】以上より、Theracurmin®は他製品と比べて高い吸収効率を保持し、血中濃度も高く持続することが判明した。Theracurmin®はクルクミンの生理活性を発揮する上で、他製品より有効な製剤であることが示唆された。